414
A2503

第七

コード妙第一ノ八

行政裁判及權限裁判ノ起由

行政事務ニ付キ地方官民ノ間ニ起ル所ノ爭訟
縣會或ハ縣會議院之ヲ判理シ其決ニ服セサレ
ハ諸省或ハ国議院ニ上告シ裁ヲ受ル者之ヲ行
政裁判ト云行政裁判通常裁判ト其事由更ヲ異
ニシ其管屬スル所從テ同カラズ然ルニ時アリ
テ通常裁判官ト行政裁判ヲ受理スル所ノ地方
官トノ間互ニ同事ヲ理セントシ權限ノ爭ヲ起
ス者之ヲ權限爭訟トス帝国ノ時ハ權限爭訟ヲ
判決スルハ亦国議院ノ任ニ帰シ共和ノ時ハ別

大正十一年一月
大槻侯爵邸ノ印
3490

ニ

権限裁判ヲ設ケテ衡平ヲ持セリ

総之革命共和ノ時ノ臨時裁判ハ其ノ人ヲ大審院ニ取リ参スルニ陪審ヲ以テス那破倫一世臨時裁判ヲ元老院中ニ設ケ諸勲賞ヲ以テ審判ノ任ニ当テ又陪審ヲ用ヒス時論盛ニ其司法ノ権ヲ奪ヒ専制自便スルヲ誹ル那破倫三世ニ至リ史ニ改正ヲ行ニ臨時裁判ニ議員及政府官吏ヲ用ヒス専ラ大審院員ニ取リ一時大審院ノ泯出タルニ過キス

第八

行政裁判

行政ト司法ノ二権互ニ相分別スルノ元則アリシヨリ、迄テ行政務ノ争訟ノ為ニ特別裁判ノ設ケアラザルヿヲ得ス、若シ司法諸裁判ヲ以テ行政務ノ争訟ヲ判スル権ヲ兼テ有セシメハ常ニ地方ノ権利ニ抵冒シ事務ノ自由ヲ障害スルノ患アラントス、故ニ行政裁判ノ設ケ其由テ来ル所已ニ久シ、「ドラクルテエ」氏現行政官地方諸官タル者何等ノ聰明ヲ具ヘ参賛輔弼スル所ノ諸議官俗ノシラザルニアラスト云ヒ、豈ニ

能ク其措置百事正平慎密一ノ国民ヲ阻害スル
ヿ無キヲ保タシ子此レ人民伸理ノ通ヲ開キ苦
情ヲ疏通スルノ行政裁判アル所以ナリ「ブラン
ヒ」氏政務学美

人民ノ訟分テ二トス一ニ曰地方官ノ政其私利
ヲ阻ツル者二ニ曰地方官ノ政其私権ヲ害スル
者二ツノ者相似テ同カラス夫レ地方官ノ戒務
ハ公益公利ヲ施スニ在リ衆人ノ公利ノ為ニ一
人ノ私利ヲ指ル干枉法ノ例ニアラス若シ其権
義ヲ害スル者ニ至テハ天理ニ在テ衆寡ヲ以テ

推量加減スベキニアラズ又法意ノ掲グル所上
下ノ約束ニ由ル故ニ所謂私利ヲ阻ツル者ニ於
テ各民只々其管轄官ニ訟ヘ或ハ其上等所属ニ
訟ヘテ情ヲ陳ヘ恵ヲ乞フヿヲ得「県民県令ヲ諸省ニ訟フ」其
所属官之ヲ理メ為ニ其利ヲ伸フル時ハ更ニ論
スルヿ無シ乃チ聴理セザルモ亦必ス争フノ権
アルヿ無シ今日甲ニ與ヘテ明日乙ニ奪フモ亦
其官吏ノ意ニ隨フノミ此レ未タ名ケテ争トス
ベカラズ所謂私権ヲ害スル者ニ至テ法ヲ論シ
直ヲ求ム官轄所属ヲ論スルヿ勿レ之ヲ県議院

ニ訟ヘ之ヲ国議院ニ想ヘ必ス明決ヲ待テ已ム
而メ其判決亦通常裁判ノ論裁ト同一ノ力ヲ有
シ確定メ回ラス是レ乃チ行政務争訟ヲ決スル
ノ裁判ト名タル者ナリ同上

二ツノ者ノ區別例如ヘハ課税不正ノ数額ヲ受
ケタルヲ以テ之ヲ減免スルヿノ求ハルハ則チ
行政争訟ノ類徴課不正ニアラズト云ヒ事情ヲ
以テ恩減延緩ヲ求ムルハ則チ争訟ノ類ニアラ
ズトラクル千エ氏

行政裁判ヲ行フ者ハ縣令下令邑長及縣會諸有
執政国議院トス

行政裁判ノ縣令及下令ニ属スル者危害不潔ノ
造構ノ顔造硝ノ如キノ類是ナリ其它従前縣令ノ管
理ニ属セシ者千八百六十五年ノ法ニ於テ皆之
ヲ縣會帰セリ其邑長ニ属スル者ハ其実甚ナ
シ僅ニ問税吏酒アト酒税ヲ争フ者ヲ判スルノ
事アルノミ

共縣會ニ屬スル者一ニ曰直税事件各民課賦不当ナルヲ減免シテ求ムル者二ニ曰土工事件官ト工主トノ間ノ争及地主ヨリ官及工主ニ向テ償当ヲ求ムルノ事三ニ曰道路事件道路及水路ノ規則ヲ破ルノ罰贖四ニ曰官地事件通常官地ハ平民ノ所有ト異ナル事毎々共争訟ハ裁判所之ヲ判ス縣會ノ管権タル者ハ独リ官林薪枝ヲ賣ルノ争礦湯造構ノ争ニ係ルノミ五ニ曰邑會議員撰挙事件撰挙ヲ得タル人能カナキモノ訟ハ通常裁判ニ屬ス撰挙ノ時方式定例ニ違フノ訟ハ縣會ニ屬ス

諸省ニ屬スル者凡ソ各省事務国債土工ノ類ヲ平民ヨリ訟ヲ起ス者皆是ナリ又縣令ノ裁ニ服セスメ覆訴スル者ヲ理ス

国議院ノ行政裁判ニ於ルハ、各省及縣令ノ裁決ヲ覆訴スル者、及縣令ノ裁決各省ヲ経テハ、伏服セサル者ヲ再審シ、及ヒ其越権越管ヲ破毀スルノ重権ヲ有ス、

縣令ノ裁決ハ別ニ定期定式ナシ、諸省ノ裁判ハ同シク訴答ニ記念書ヲ用ヒ、裁判費無ク執政自ラ本局ニ於テ其事件掛負ノ始末書ヲ宣読スルヲ聽キ、其裁判ヲ擅外ニ記入シ、訴人ニ行下スルノミ、

縣會ノ裁判ハ、千八百六十五年以来始テ廣聽ヲ許シ、陳訴代言ヲ訴シ、従前只記念書ヲ用ヒ口陳ヲ許サス、又縣ノ大書記即チ参事ヲメ目代ノ事ヲ行ハシム、大抵通常民訟ト異ナルコトナク、尤ホ稍簡易ナルノミ、

フランシ氏曰、行政裁判ノ方法、倹ニシテ簡、此ヒ其ノ貴フ所ナリ、

國議院、今ヲ四課トシ、帝國ノ時六課トス、其一ヲ行政務裁判課トス、

行政務裁判課、六員、其一ヲ課長トス、其外ニ上告官数員、古ハ國議院ニ於テ諸藩国ノ上告ヲ受ケタリ、故ニ此ノ名アリ、今上告官ト称スル者亦議員ノ類、各課ニ分属シ、多少ハ其繁簡ニ従フ、但参議ノ権アリテ発議ノ権ナシ、

課務ヲ聞ク、特副議長之ニ首班ス、議長首班セス

司法執政院議院議長ヲ兼ヌ凡ソ議長ハ諸課ニ首班セス首班ハ唯タ裁判課ニ首班セス

凡ソ人民行政務裁判ヲ覆訴シ若クハ上告スル者アレハ本課其事ヲ審明シ及ヒ其始末書ヲ艸スルニ任ス事情已ニ明ラシテ後議員會ヲ開キ審判ス裁判議員ノ構成ハ一ニ曰本課員二ニ曰它課ヨリ撰ハレタル議員六人凡ソ裁判議員會ヲ開クニ副議長首班シ発議ノ權ヲ有スル者ヲ草スルニ任セシ者九人ヨリサキヿヲ得ス偶ヽ発議ノ權ヲ有ス

数ヲ以テ議スルヿヲ得ス両議平分決ヲ取リ難キヿヲ恐ル

訟廷ヲ開キ廣聽ヲ許シ初ニ上告官始末書ヲ読ミ次ニ訴人或ハ其代言人陳訴シ終ニ目代政府ノ理趣ヲ主持ス目代トハ即チ上告官ノ中三員政府ノ命ヲ以テ豫メ政府ノ目代ニ任シ裁判課ニ參シ更ニ訟事ニ任スル者是ナリ其後評議ノ時ハ戸ヲ鎖メ衆観ヲ許サス評議法ハ首長問ヲ発シ議官或ハ坐立ヲ以テ或ハ名ヲ称フルヲ以テ然否ヲ表ス許可ヲ得ルニアラサレハ妄ニ陳言スルヿヲ得ス分議決セサル時ハ首長ノ議ヲ以テ軍重トス議決メ又廷ヲ開キ裁判ヲ宣フ

右現行共和ノ制ニ据ル帝国ノ時ト大同小異

各民諸省及地方官ニ對シ訴ヲナス者鉄道社中之部省ト争訟シ所管平民縣令或ハ税官ト争訟スル類ハ裁判所之ヲ理ス シテ小事ハ縣治議院大事ハ国議院之ヲ判ス

國議院ニ於テ行政裁判ノ事

国議院分テ六課トス其ノ一ヲ行政裁判課トス國議院ニ於テ行政上諸省及地方官ノ諸争訟ヲ指スニ行政権ト裁判権トノ間ノ権限ノ争ヲ判断スル為メノ料理ヲナスニ任ス一課六負其一ヲ課長トス其外ニ上告首目ト名クルモノ数負右ハ国議院ニ於テ諸藩国ノ上告ヲ受ク故ニ上告首目ハ此ノ名アリ

参議ノ権アリテ評議ノ権ナシ

上告首目ノ中ニ三人ヲ撰ミ政府ノ目代トシ訴

人ニ對シ改府ノ理趣ヲ保持スルニ仕ス

権限爭訟トハ何ノ権限爭訟ノ起ル由縁ハ今一事件アリテ裁判所其訴ヲ受理セントスルニ其地ノ縣令タル者ニリ其事件ハ宜シク行政裁判即チ縣治議院及国議院等ノ管理ニ屬スヘクメ通常裁判ノ権限ニアラサルヿヲ論ス則チ訴状ヲ作リ之ヲ其地ノ目代官即チ掾事ニ達シ目代官ヨリ其訴状ヲ裁判所ニ遞付ス若シ裁判所之ヲ許同スル時ハ其事件ヲ行政裁判縣治議院国議院及ニ遞付シテ事終リ爭訟アルヿナシ若シ裁判所之ヲ退ケテ縣令ノ訴ヲ容レサル時ハ始メテ権限ノ爭ヲ生ス縣令即チ其事件ノ審理ヲ延止スヘキノ令状ヲ其裁判所ノ官記局ニ送達スルヿ十五日間ヲ以テ期トス裁判所ニテ初メ縣令ノ訴状ヲ退ルノ日ヨリ十五日内ニ審理延止ノ状ヲ送リルヘシ十五日ヲ過リ時ハ裁判所ニテ再ヒ縣令ノ乞ヲ聽カス

裁判所即チ審理延止ノ旨ヲ訴訟人ニ言渡シ目代官又其ノ故ヲ諭シ又目代ヨリ縣令申訴ノ官類ヲ司法執改ニ遍呈シ司法執改直チニ之レヲ國議院官記官ニ付シ書記官之ヲ檢討シテ縣令訴ル所ノ理趣何ニノ管権ニ拠ル云ヒヲ以テ執

改ニ申シ照知セシム原被両告ハ即チ縣令ト裁判所各ト
代言人ニ依テ代訟セシメ國議院昏記局ニ於テ
互ニ相手方ノ昏類ヲ檢視シ又行政裁判課ノ昏
記局ニ其訴状ヲ呈付シ行政裁判課ハ一應其事
ヲ議シ其課長ヨリ議員中ノ一人ヲ大抵上告首目任シ
テ始末昏ヲ作ラシム其ノ始末書ハ又昏記局ニ
於テ双方代言人之ヲ檢読スルヿヲ得又之ヲ政
府ノ目代員即チ政府ノ代人タル為メニ豫メ司法執政ヨリ差委シタルモノニ
傳示ス其ノ後國議院始メテ裁判會ヲ開ラリ會
ニ列スル者一ニ行政裁判課総員二ニ其它ノ國

議員十人トス初メニ一人ノ上告首目始末昏ヲ
読ミ次ニ双方ノ代言人各訴趣ヲ述ヘ行政官ニ
属スヘク或ハ裁判所ニ属スヘキ事ヲ論ス家末
ニ政府ノ目代員意見ヲ述ヘ即チ政府ニ代ツテ議ヲ述フ
終テ會衆ヨリ裁決ニ宣付ス裁決ハ國帝ニ奏上
シ國帝之ニ花押シ始テ確定トス若其裁決果メ
事件行政権ニ属スヘキヿヲ断シタルトキハ先キ
ニ其事ヲ受理セントシタル裁判所ハ再ヒ之ヲ
管裁スルヿヲ得ス又事件裁判権ニ属スヘキヿ
ヲ断シタル時ハ其裁判所再ヒ前事ヲ執行スヘ

シ之レヲ要スルニ國議院ハ其訴訟事件ノ曲直ヲ判スルノ任ニハアラス シテ独リ其事ヲ管理スル権任ノ在ル所ヲ裁決スル而已國議院ノ裁決ヲ経タル上ニテ其ノ原被タル者ハ再タヒ其ノ当然権任ノ官署ニ於テ其事件ノ裁判ヲ乞フヘシ以上権限裁判ノ縁由及法方トス

抑ヽ今我カ顧問ヲ受ケタル事件ニ於テハ前文ノ所謂始メニ裁判所事ヲ受理セントシテ地方官之ヲ論駁シタル者ニアラス反テ地方官受理メ裁判所論駁シタル者ナリ是レ前条ト一例ニスヘカラスメ更ニ它ノ条章ニ依リ其例ヲ求ムヘシ即チ法ノ文ニ曰國議院ハ諸省執政ノ間ニ由テ諸省ノ間ニ起ル所ノ争難ヲ決ス第一ニ法章ニ依リ諸省分有スル所ノ権限ニ係リタル者第二ニ法章ノ処行ニ係リタル者ト」是ナリ諸省ノ卿ハ國議院ニ出頭スルノ権アリ諸省ノ

卿ノ求メアレハ國議院ノ大書記官即チ其事目
ニ総會議ノ目次録ニ挙ク国議院ノ議ニ総會議
事ハ各課會議シ大事ハ総員會議スル凡ソ議事ハ
先ツ其事目ヲ目次録ニ挙ケ前後緩急ノ順ヲ追
テ逐日議行フ諸省ノ卿其身自ラ出頭シ或ハ目代ヲ
以テ其趣意ヲ主持陳言シ國議院之ヲ判スルヿ
通常ノ法式ト異ナルヿナシ其文式ニ曰ク国議
院ノ議如此云ヘリ